

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成23年11月10日
【四半期会計期間】	第33期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社秋川牧園
【英訳名】	AKIKAWA FOODS & FARMS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 秋川 正
【本店の所在の場所】	山口県山口市仁保下郷317番地
【電話番号】	083(929)0630
【事務連絡者氏名】	経営管理部次長 原田 良人
【最寄りの連絡場所】	山口県山口市仁保下郷317番地
【電話番号】	083(929)0630
【事務連絡者氏名】	経営管理部次長 原田 良人
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第32期 第2四半期連結 累計期間	第33期 第2四半期連結 累計期間	第32期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	2,052,200	2,073,195	4,276,597
経常利益又は経常損失() (千円)	29,026	9,966	40,962
四半期純損失()又は当期純利益(千円)	30,399	21,397	15,195
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	35,361	20,113	10,479
純資産額(千円)	1,246,467	1,259,676	1,292,309
総資産額(千円)	3,942,881	3,908,355	4,047,050
1株当たり四半期純損失金額 ()又は1株当たり当期純利益 金額(円)	7.28	5.12	3.64
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)			
自己資本比率(%)	31.6	32.2	31.9
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	65,673	124,241	277,121
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	136,631	94,583	227,275
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	92,017	129,003	150,584
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	674,561	754,587	853,932

回次	第32期 第2四半期連結 会計期間	第33期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純損失金額 ()(円)	4.75	3.09

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第32期第2四半期連結累計期間及び第33期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第32期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 第32期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から一部に持ち直しの動きが見られたものの、原子力発電所の事故による電力供給不足の影響や、長期化する円高やデフレ、厳しい雇用環境など先行き不透明な状況が続きました。

食品業界におきましても、一部の食品から基準値を上回る放射能が検出されたことや、原材料価格の高騰と消費マインドの低下が継続しており、引き続き厳しい経営環境の中で推移いたしました。

このような状況の中、当社の主たる販売先である産直型の生活協同組合及び宅配会社に対する主力の鶏肉の販売は、前年同期と比べ堅調に推移いたしました。利益面につきましては、飼料を中心とする原材料価格の高騰の影響があったものの、鶏卵の需給バランスの改善で余剰処理コストが減少したことや、販売費及び一般管理費が減少したことにより、増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は20億73百万円（前年同期比1.0%増）、営業損失は18百万円（前年同期は27百万円の損失）、経常損失は9百万円（前年同期は29百万円の損失）、四半期純損失は21百万円（前年同期は30百万円の純損失）となりました。なお、当社の売上は鶏肉等の需要が秋から冬にかけて多くなるため、利益の大半が下半期に発生する傾向にあります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（産直畜産事業）

主に産直型の生活協同組合及び宅配会社へ販売している鶏肉、冷凍加工食品、鶏卵で構成される産直畜産事業につきましては、鶏肉の販売が前年同期を上回ったため、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、鶏卵の需給バランスの改善による余剰処理コストの減少があったものの、飼料を中心とする原材料価格の高騰により減益となりました。

この結果、産直畜産事業の売上高は、17億18百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は1億44百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

（総合宅配事業）

当社の食品を中心に会員宅に毎週商品をお届けする会員制宅配事業「スマイル生活」につきましては、客単価の増加や、会員数が伸長したことにより、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費の増加により、微減となりました。

この結果、総合宅配事業の売上高は、3億4百万円（前年同期比2.5%増）、営業損失は12百万円（前年同期は11百万円の損失）となりました。

（牛乳製造卸売事業）

牛乳や乳製品を生産、販売している牛乳製造卸売事業につきましては、採算性に問題のあった量販店等への卸売の縮小を行ったことにより売上高は減少いたしました。利益面につきましては、不採算販売の縮小の効果と、製造を担う(有)あさかわ牛乳のコスト削減による生産性向上が増益要因となりました。

この結果、牛乳製造卸売事業の売上高は、27百万円（前年同期比26.5%減）、営業損失は10百万円（前年同期は17百万円の損失）となりました。

(2)キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、短期借入金の純減、有形固定資産の取得による支出、長期借入金の返済による支出等により、前連結会計年度に比べ99百万円減少し、7億54百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は1億24百万円になりました。

これは主として、税金等調整前四半期純損失（10百万円）に対して、減価償却費（1億19百万円）、未収入金の減少（31百万円）、賞与引当金の増加（18百万円）等から、仕入債務の減少（52百万円）等を控除した結果によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は94百万円になりました。

これは主として、貸付金の回収による収入（10百万円）等から、有形固定資産の取得による支出（1億3百万円）、貸付による支出（2百万円）等を控除した結果によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億29百万円になりました。

これは主として、長期借入による収入（1億円）等から、短期借入金の純減額（1億20百万円）、長期借入金の返済による支出（88百万円）等を控除した結果によるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、19,508千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,179,000	4,179,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	4,179,000	4,179,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高(千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	4,179	-	714,150	-	381,030

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
秋川 正	山口県山口市	1,135	27.2
秋川 實	山口県山口市	429	10.3
秋川牧園職員持株会	山口県山口市仁保下郷317	372	8.9
(株)山口銀行	山口県下関市竹崎町4丁目2-36	200	4.8
秋川 喜代子	山口県山口市	152	3.6
秋川 壽子	千葉県印西市	129	3.1
山口県信用農業協同組合連合会	山口県山口市小郡下郷2139	120	2.9
伊藤忠飼料(株)	東京都江東区亀戸2丁目35-13	106	2.5
秋川 茂	山口県防府市	69	1.7
中村 昌子	山口県山口市	52	1.2
計	-	2,765	66.2

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 5,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,169,000	4,169	-
単元未満株式	普通株式 5,000	-	-
発行済株式総数	4,179,000	-	-
総株主の議決権	-	4,169	-

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(株)秋川牧園	山口県山口市仁保下郷317	5,000	-	5,000	0.12
計	-	5,000	-	5,000	0.12

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、西日本監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	833,499	734,146
受取手形及び売掛金	479,594	488,750
有価証券	20,433	20,440
商品及び製品	71,270	79,437
仕掛品	264,610	254,810
原材料及び貯蔵品	63,828	57,200
その他	205,277	180,980
貸倒引当金	754	748
流動資産合計	1,937,760	1,815,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	689,588	674,524
土地	791,008	792,349
建設仮勘定	19,645	29,497
その他(純額)	312,245	317,514
有形固定資産合計	1,812,488	1,813,886
無形固定資産		
のれん	95,467	86,712
その他	19,596	17,654
無形固定資産合計	115,063	104,366
投資その他の資産	181,738	175,084
固定資産合計	2,109,290	2,093,337
資産合計	4,047,050	3,908,355
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	369,527	316,870
短期借入金	1,451,735	1,332,805
未払法人税等	11,886	13,608
賞与引当金	20,014	38,895
その他	210,783	227,455
流動負債合計	2,063,947	1,929,634
固定負債		
長期借入金	397,717	407,977
退職給付引当金	168,128	176,380
役員退職慰労引当金	45,872	49,608
その他	79,075	85,078
固定負債合計	690,793	719,044
負債合計	2,754,740	2,648,679

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	554,541	554,541
利益剰余金	26,184	7,732
自己株式	3,573	3,573
株主資本合計	1,291,303	1,257,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,006	2,290
その他の包括利益累計額合計	1,006	2,290
純資産合計	1,292,309	1,259,676
負債純資産合計	4,047,050	3,908,355

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	2,052,200	2,073,195
売上原価	1,608,270	1,630,021
売上総利益	443,929	443,174
販売費及び一般管理費	1 471,515	1 461,176
営業損失 ()	27,585	18,002
営業外収益		
受取利息	1,560	676
受取配当金	769	769
補填金収入	144	11,210
保険返戻金	3,200	6,643
還付消費税等	3,959	-
その他	2,662	3,718
営業外収益合計	12,295	23,018
営業外費用		
支払利息	13,660	14,937
その他	76	45
営業外費用合計	13,736	14,982
経常損失 ()	29,026	9,966
特別利益		
固定資産売却益	373	786
貸倒引当金戻入額	200	-
その他	-	62
特別利益合計	573	849
特別損失		
固定資産売却損	207	185
固定資産除却損	1,319	734
特別損失合計	1,527	919
税金等調整前四半期純損失 ()	29,980	10,036
法人税、住民税及び事業税	6,841	11,382
法人税等調整額	6,422	22
法人税等合計	419	11,360
少数株主損益調整前四半期純損失 ()	30,399	21,397
四半期純損失 ()	30,399	21,397

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	30,399	21,397
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	4,962	1,283
その他の包括利益合計	4,962	1,283
四半期包括利益	35,361	20,113
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,361	20,113

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	29,980	10,036
減価償却費	73,495	119,641
のれん償却額	7,223	8,754
貸倒引当金の増減額(は減少)	200	6
賞与引当金の増減額(は減少)	208	18,881
退職給付引当金の増減額(は減少)	7,094	8,251
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,390	3,736
受取利息及び受取配当金	2,330	1,446
支払利息	13,660	14,937
有形固定資産売却損益(は益)	165	601
有形固定資産除却損	1,319	734
売上債権の増減額(は増加)	267	9,155
たな卸資産の増減額(は増加)	13,007	8,261
未収入金の増減額(は増加)	46,951	31,445
仕入債務の増減額(は減少)	9,198	52,657
その他	9,334	4,219
小計	86,859	144,959
利息及び配当金の受取額	2,380	1,571
利息の支払額	13,650	14,904
法人税等の支払額	9,916	7,384
営業活動によるキャッシュ・フロー	65,673	124,241
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	69,387	103,158
有形固定資産の売却による収入	11,304	2,647
投資有価証券の取得による支出	50,000	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	3,502	-
貸付けによる支出	52,210	2,450
貸付金の回収による収入	24,777	10,102
ソフトウェアの取得による支出	3,030	1,245
その他	1,588	479
投資活動によるキャッシュ・フロー	136,631	94,583
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	50,000	120,000
長期借入れによる収入	250,000	100,000
長期借入金の返済による支出	89,959	88,670
自己株式の取得による支出	409	-
配当金の支払額	12,383	12,370
その他	5,230	7,963
財務活動によるキャッシュ・フロー	92,017	129,003

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	21,059	99,345
現金及び現金同等物の期首残高	653,502	853,932
現金及び現金同等物の四半期末残高	674,561	754,587

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
投資その他の資産	476千円	475千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
荷造運送費	106,091千円	107,401千円
給与手当	123,486	118,648
賞与引当金繰入額	12,936	15,315
退職給付引当金繰入額	6,665	5,288
役員退職慰労引当金繰入額	1,390	5,033

2 当社グループの主たる事業では、鍋シーズンやクリスマスなどの冬季に、鶏肉製品が集中して受注を受けるため、第3四半期連結会計期間の売上高は他の四半期連結会計期間の売上高と比べ著しく高くなるという季節的変動があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び預金勘定	654,134千円	734,146千円
マネー・マネジメント・ファンド	20,426	20,440
現金及び現金同等物	674,561	754,587

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月25日 定時株主総会	普通株式	12,523	3	平成22年3月31日	平成22年6月28日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	12,520	3	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	産直畜産	総合宅配	牛乳製造卸売	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,697,216	296,888	37,072	2,031,177	21,022	2,052,200
セグメント間の内部売上高 又は振替高	48,331	1,479	28,136	77,947	118,593	196,540
計	1,745,547	298,368	65,209	2,109,125	139,615	2,248,740
セグメント利益又は損失 ()	151,600	11,383	17,448	122,768	18,230	104,538

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、牛乳宅配事業及び物流部門等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	122,768
「その他」の区分の利益	18,230
のれんの償却額	7,223
全社費用(注)	124,900
四半期連結損益計算書の営業損失()	27,585

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

「産直畜産事業」セグメントにおいて、新たに連結子会社とした(有)篠目三谷の株式取得に伴い、当第2四半期連結累計期間において、のれんが54,421千円増加しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	産直畜産	総合宅配	牛乳製造卸売	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,718,189	304,299	27,254	2,049,743	23,452	2,073,195
セグメント間の内部売上高 又は振替高	49,492	1,418	29,809	80,720	120,288	201,009
計	1,767,681	305,718	57,063	2,130,463	143,741	2,274,204
セグメント利益又は損失 ()	144,797	12,565	10,860	121,371	6,319	115,051

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、牛乳宅配事業及び物流部門等を

含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	121,371
「その他」の区分の利益	6,319
のれんの償却額	8,754
全社費用(注)	124,298
四半期連結損益計算書の営業損失()	18,002

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額	7円28銭	5円12銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	30,399	21,397
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	30,399	21,397
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,173	4,173

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月9日

株式会社秋川牧園
取締役会 御中

西日本監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 梶田 滋 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 大藪 俊治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社秋川牧園の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社秋川牧園及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の平成23年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して平成22年11月4日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して平成23年6月24日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。